

## 令和4年度 若手薬剤師フォーラムに参加して

### ①

今回フォーラムに参加し、神谷議員をはじめ国会議員の話聞き薬剤師はもっと現実的に職能や報酬について意識をする必要があることを改めて考えた。質問の各論は仕方がないとして、それらの問題に立ち向かうために自分たちが何を形にして示していくかということを実際に考えていかないと未来は無いと感じる。薬剤師職能をデータや結果としてアピールする努力はもっとできるはずである。そしてそれらを国政に伝える国会議員が圧倒的に足りないことに無自覚な薬剤師を変革していく必要がある。惰性でこの先はないことを知る必要がある。ミクロな各論ではなくマクロな視点で有用性をPRできるような意識を皆が持つことが重要である。

また、薬学生からの教育についてももっと考えていく必要がある。学生は政治に無縁でありたいという怠惰な意識で無残なカリキュラムをただ行っている大学のいうことばかり聞いているのではなく、薬学生のころから薬剤師という法に記された資格を良くも悪くも左右するのは立法であり、その意識を学生のうちから理解してもらうことが非常に重要だと考えた。大学とはもっと情報共有をし、政治への関心を持ってもらうべく働きかける必要があると認識している。

最後に、送り込んだ国会議員の皆様は必死に政治の場で質問をし、法律の立案をし・・・と頑張っておられることは十分承知したが、それを薬剤師や国民にむけどう発信していくかということは、もっともっと努力する余地があると思うのでぜひ改善をお願いしたい。

最後に国会見学も含め、このような機会を設けていただいた事務局には感謝いたします。

### ②

藤井先生のお話から、今まで薬剤師が積み重ねてきた政治的な歩みを、大変よく理解できました。

また、神谷先生から国会議員としての活動内容を詳細に語っていただいた事により、どのようにご活躍されているのかが、とてもリアルにイメージする事ができました。その事により、私たちの声がどの様に届き、どの様に国勢に反映されていくかがよく理解でき、連盟活動の意義をより深く感じる事ができました。それと同時に、他の会員にも発信することで、連盟活動への理解の一助となるのでは、と考えます。

また、医薬品の供給等、私達にとっての喫緊の課題について直接お話

を聞いたことで、とても心強く感じました。それと同時に、在宅現場での注射薬の処方についての質問についての的確にお答えいただき、現場出身として私達のあげた声をよく理解していただける事を強く感じました。より多くの人達からの質問を効率よく届け、回答をいただくことができれば、より強力な支持を得る事ができると思います。

③

薬剤師国会議員の存在が必要であることは、もともと認識していたが、今回のフォーラムに参加して、実際の議員の1日の行動や活動を伺い色々な場所と状況で情報交換や意見を述べられていることや、見えない部分での活躍がかなりあることを知りました。また、発言の機会が限られるため議員の数が非常に大事で数の重要性・必要性をさらに認識し、より多くの薬剤師国会議員が必要であると思った。

薬剤師議員を増やすために診療報酬＝政治、薬局＝政治と切っても切れない現実・事実を受け入れ、政治を遠ざける薬剤師を減らすために何をするのかを考えていく必要性があると思います。資格の数では医師と同等にも関わらず議員数が大幅に少ない現実をどう改善していくのかが重要かと思います。

学校教育の場面でも学生の頃からしっかり国家資格＝政治＝生活に繋がることを意識付けしていく必要性を感じました。

今回のような政治家の一面を薬剤師全体に発信していければ政治の重要性を認識する薬剤師は増えると思いますが、なぜ伝わらないのでしょうか？率直に疑問です。

④

議員からの活動報告と質疑応答として、藤井基之元参議院議員より弱者に対する優しさを持ち続けるように、サイエンスに対しては常に厳しさを持ち続けるようにとのお話がありました。

次に神谷政幸参議院議員より議員の1日の活動、薬剤師業務と政治の関わりについてお話がありました。最後に本田議員政策秘書の関野秀人様から政務官の仕事、本田議員の薬剤師の声を国政に届ける活動などお話しがありました。

その後国会に移動し国会見学。最後に参議院議会館訪問させて頂きました。

政治の重要性など改めてとても貴重な体験ができ、明日からの薬剤師業務に活かしていきたいと思います。

⑤

この度は、国会議事堂や議員会館に初めて入らせていただき、又建物内部の説明まで聞かせていただき、貴重な体験をありがとうございました。

普段直接お話しする機会のない国会議員の先生から質問に対する回答やどのような活動をしているか直接お話を聞け、とても刺激お受けました。今までそこまで政治に参加する気持ちが強くなく、総決起集会に参加したり薬局のスタッフに名簿を置いてもらったりしていただけですが、薬剤師の地位の向上の為にはもっと多くの薬剤師国会議員や県議会議員・市議会議員など議員を増やし薬剤師の必要性を政治に訴えていく必要があります、そのために薬剤師会の会員や薬局と一緒に働いているスタッフがしっかり後押しし、積極的に薬剤師連盟などの活動に参加しないと今回の若手薬剤師フォーラムに参加して感じました。

⑥

藤井先生、神谷先生、関野先生の普段なかなか耳にすることができない貴重なお話を聞くことができ興味深い時間となりました。

(個人情報になるので、感想の取り扱いには気をつけていただきたいですが) 私自身、祖父も両親も同業であり、薬剤師が政治に関わっていくことの必要性、重要性は子供の頃から聞かされてきました。

自分が薬剤師として現場で働く中では、どうしてもその職場環境や所属する会社の問題などに目がいきがちで、狭い世界に身を置いてしまうことが多い気がします。

今回のフォーラムを通して、改めて薬剤師が国政に携わることの重要性を学ぶことができました。

また、現場で活躍される他の先生もたくさんいらっしゃるのも拝見でき非常に心強いです。

国政に携わってくださる先生方と現場で活躍される先生方、相互の信頼と協力が今後も不可欠です。

まずは国政に携わってくれる薬剤師の先生がもっと増えてくれるのを願います。

私個人としては、政治家を目指すとか、このまま現場でやってくとかそういうことよりも、国政に携わる先生のサポートや普及活動(学生や子供たちに薬剤師のことを知ってもらう、伝えていくとか?)に興味があります。

今の中学生・小学生には、なりたい職があってもそこに辿り着くまでに費やす時間やお金と、職についてからの労働環境や賃金問題などを踏

まえ、その職を希望から外すという感覚もあるようです。

薬剤師がそういった職になってしまうのか、しまわないのかは今後の私たちの活動に委ねられているのかもしれない。

薬剤師の未来が明るいものであることを切に願います。

最後に今回のフォーラムに携わって下さった事務局含め、全ての方に感謝致します。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

⑦

今回、若手フォーラムに参加して神谷先生のお話を聞き、もっと多くの薬剤師が議員である本田先生や神谷先生の活躍を知るべきだと思いました。

なかなか自分からは、あんなこと・こんなことをやりました！と言いつけられないのであれば、他の人が良いところを切り取って、簡潔にしっかりと伝えていく必要があると思います。

選挙前しか動かないのではなく、日々の活躍を SNS でしっかりと伝えてください。

間違えないで欲しいのは、本人がやる必要はありません。うちの会社のブログも僕は一切書いておりませんが、毎週 3～5 本の記事が作成されています。

頑張る必要はなく、仕組みを作れば良いだけです。

その広報によって「薬剤師にとって必要」だと思わせれば、30 万票は必ず入るので未来永劫安心して選挙に臨めると思います。

⑧

今回初めての若手薬剤師フォーラム研修会への参加でしたが、大変刺激のある交流となり参加して良かったです。

退任された藤井先生が退任後も薬業界にご尽力されていることに感銘いたしました。

神谷先生もいろいろな場면을体感されているせいか、風格が変わられて頼もしく感じられました。

本田先生も政務次官という中枢で認められる働きをされている様子に先生方の努力を垣間見て、現場の私たち薬剤師自身もより国民に必要なとされる努力がいます。必要な業種とされる認知度をあげることが、神谷先生、本田先生への後方支援となり、今後新たに生まれる私たちの代弁者の力となると感じました。

⑨

初めての体験の連続に興奮のやまない1日になりました。

フォーラムでは連盟の役員のお話から始まり、藤井先生の今日に至るまでの活動内容や歴史的な変換転移についてのお話がありました。生まれる前の話で想像もできませんが、薬剤師の役割が医薬分業から大きな転機となったことが良くわかりました。また、神谷先生や関野先生による具体的なお仕事のお話や、質問への解答を聞いて診療報酬改定の裏で様々な駆け引きや戦いが繰り広げられていることを知りました。特に印象的だったのは「質問は大方1人1回限り」ということです。たった1回の質問で今後の方向が決めっていくと考えると、神谷先生のプレッシャーは計り知れないものだと思います。

選挙ぐらいしか政治に縁がないと思っていましたが、もっと積極的に神谷先生や本田先生を応援していきたいと思います。

この度は貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

⑩

今回のフォーラムに参加して多くの事を学びました。

まずは国会議員、官僚の仕事についてです。国会で質問するだけでなくその前の準備、官僚の方達とのやり取りや、委員会に所属して勉強されたり目に見えてない多くの苦労があるのを実感することが出来ました。あと薬剤師の代表という立場は薬局からだけの意見でなく、病院薬剤師も含めたものであると当たり前のことを気付かせてくれました。

また24時間体制についても、今までは労働基準に反しているのではないかと考えていましたが、これはあくまでも患者さんが望んでいるものであって、やるやらないは自由。嫌ならやらなくて良い、やったらその分の対価をつけるようにしましたと言われて、その様に考えられて作られたのだと理解することができました。

午後の国会議事堂見学では休館日にも関わらず開けていただき、また丁寧にご案内していただけたので、とても興味深く見学することもできました。

また、普通ではとても入れない参議院会館の神谷先生のお部屋の見学もさせていただき、とても楽しくまた神谷先生がとても身近な方だと感じられました。

このような機会があったのも今回初めて知りました。もっと政治に興味を持ってもらうために、このフォーラムを他の方にも勧めて参加していただき、一人でも多くの方に連盟の事を理解して、選挙に行ってもらう様にしていこうと思いました。

⑪

藤井先生からは、今までの経緯と、薬剤師としての心得として「弱者のためのやさしさを持つこと」、「化学者として化学に対する厳しさを持つこと」というありがたい言葉をいただいた。また 24 時間対応など薬局の体制としては様々に整えなければならない状況があるが、「患者が求めていることなのではないか？」というお言葉で、点数ありきなのではなく、患者のニーズ主体でも考えていかなければならないことを改めて感じました。

神谷先生からは、国会議員の 1 日のスケジュールと、現状の神谷先生が何を為されているか、また今後どういった訴えをしていきたいのかを教えていただいた。やはり、以前の地域ケアの構想に薬局が入っていなかったことを踏まえると、国会議員の方が会議に参加し、薬剤師を入れることを訴えるということの重大さを感じました。今後も薬剤師の国会議員を増やしていくべきだと考えます。

また、本多先生が現状どういう立場にいるのかなども教えていただき、現在は厚生労働省の政務官ということで、厚生労働省の中からも薬剤師の重要性を訴えていっていただきたいと考えます。

今回の教えていただいたことを、弊社の職員にも教え、薬剤師の業務の考え方、また政治の重要性も併せて啓蒙していきたいと思えます。

⑫

今回若手薬剤師フォーラムで、関野先生、藤井先生、神谷先生のお話を伺い、薬剤師というものがいかに政治と密接に関係し、業務が成り立っているかという事を実感しました。薬剤師として社会に貢献していくためには、政治の場で如何に発言していくか。そのためには現場の意見を発言してもらう薬剤師議員が必要で、その発言に力を持たせるためには薬剤師議員の数、ひいてはその背後で応援する人々の数が必要であると実感いたしました。

今回のフォーラムで体験、感じた事を地元でも共有していこうと思えます。

⑬

先日は神谷先生、藤井先生、関谷先生との交流ができてよかったです。質問して聞いてみたかった内容、薬価のこと薬剤師の働き方について神谷先生、藤井先生にお答えいただき感謝でしかありません。

自分はなぜか知らないけど推薦されそのまま参加して、参加された方が本当真面目な方が多く、自分も見習わないといけないと感じました。

国会議員さんも何されているかわからないために神谷先生が詳しく説明してもらいまたご本人とも直接お話する事もできました。

お話すると本当に一生懸命薬剤師のためとは言い過ぎかもしれませんが活動してくれてると感じました。まだまだ始まったばかりだとは思いますが頑張っしてほしいです。

今回の若手薬剤師フォーラムでまた政治とのつながりがいかに大切かも理解しましたし、これから自分にできることはなんだろうと考えながら仕事していこうと思います。

⑭

令和4年度若手薬剤師フォーラムに参加させていただきました。国会の衆議院本会議場を見学させていただくなど、貴重な経験をさせていただきました。昨年の参議院選挙で私たちは神谷候補者を当選させることができ、安堵の気持ちでいっぱいでした。そして、どこかそこでミッションコンプリートということで、政治への興味が終了した気持ちでした。しかし、神谷議員はまさに当選のその日がSTART、ここまでの数か月間で、多くのことをさらに勉強され、人脈を広げ、たくさんの経験値を積み、そして、私たち薬剤師のためにお仕事をしてくださっていたことが改めてわかりました。選挙中は「選挙のための演説」として若干現実味を持たずに聞いていましたが、今では頼れる薬剤師議員に成長され、本当に心強く感じました。その中で、印象に残ったことは、私たちは調剤報酬の引き上げなど自分たちの利益になる主張ばかりしてはいけない。国民のために私たちは存在しているのですから、ワクチン問題、医薬品安定供給問題、人材不足、医療費問題、在宅医療、国が抱える様々な医療に関する問題に対して、包括的に当事者意識を持ち、様々な問題に私たち薬剤師に何ができるかを考えていかなければならない。その対価が調剤報酬なのだという、実は当たり前のことなのですが、改めて感じました。「働き方改革の中で薬局の24時間対応などは世の中に逆行するのでは」という質問に対し、藤井もとゆき議員が少語気を強めて「嫌ならやらなければいい、我々はやれとは言っていない」とおっしゃいました。国会は法律を作る場所であり、そこで藤井先生、本田先生、神谷先生方は私たち薬剤師が活躍できるステージを作ってくれている。その場所で活躍することを選ぶ選択権は我々にある。薬剤師の職能拡大、地位向上は、努力なしには決して成しえないということ、先人たちの努力研鑽の上に今があることを忘れずに、これからも努力を続けていこうということ、そして、少しでも多くの方に政治に興味を持ってもらい、そして薬剤師をこれからもさらに盛り上げていくことにどんどん参加し

てもらおうと思いました。よい機会を与えていただきました愛知県薬剤師連盟に感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑮

こういったフォーラムで東京まで、しかも国会議事堂内まで拝見できてとても新鮮でした。

研修会では三議員のこれまでの活躍、活動を聞くことができ、我々の知らないところでみんなのためにうごかれていることが分かり、頭の下がる思いでした。

私が薬剤師になった頃は薬剤師って何をしているの？

医師も調剤ができるなら薬剤師なんていらなくない？って言われていました。

ドラマにもなった「アンサンブシンドレラ」の冒頭もこの言葉で始まっています。

今は薬剤師に聞いてみようということも多くなってきました。

薬剤師が認知されていきているのは政治的な活動も大きかったと思います。

これからの薬業界のことを考えると政治の場に薬剤師議員がいることはとても重要であることが分かりました。

これについては今回のフォーラムに参加した者は皆同じ考えだと思います。

政治は薬剤師が議員になってもすぐには変化が生まれないと思いますが、今後のために種を撒き、しばらくしてから芽を出し、実を結ぶもので、皆のために種をまく議員がいなくなったり減ってしまえば芽を出すことも実をむすぶことも減ります。

他の連盟の加入者はもとより、薬剤師会及び薬剤師連盟に加入していない薬局薬剤師や薬局の経営者に3名の議員の活動を知ってもらいたいです。

政治に興味がないと言って選挙活動や投票に行かないということは、今後の薬剤師業務、特に若い薬剤師の活躍の場を減らすものと考えてもらいたいですね。

⑯

今回のフォーラムに参加して、国会議員の先生が日頃どのような活動をしているか分かり、薬剤師議員の必要性について理解することができました。神谷先生おっしゃった新型コロナが5類になる際の薬剤費の負担に関する意見は、薬剤師議員ならではの考えであると気づかされました。



現在問題になっているジェネリック医薬品の供給不足に関しての考え、また交流の場ならではの、他の薬剤師の先生のお考えを機会があり、メーカー、卸の利益を考えた上での安定供給の再開になるのだと考えさせられました。

今後も現場の意見を直接聞いていただいたり、議員の先生のお考えを聞かせていただく機会を設けていただき、多くの薬剤師に参加していただいて、その経験をまた何かの機会に多くの方々にお伝えしていただければと思います。

⑰

去る2月23日、天皇誕生日の祝日に若手薬剤師フォーラムに初めて参加した。件のフォーラム参加のみならず東京都に足を踏み入れたことすらない私は、緊張と興奮の中で当日を迎えることとなった。まず初めにこのような貴重な体験をする機会をいただけたことに深く感謝を申し上げたいと思う。

本会議体には「若手」という接頭語が付与されていることから、果たして自分に参加資格があるのかどうかという葛藤の中で当日を迎えた。しかし、自分と同年代と推測される参加者の方々を拝見し、そのような考えが杞憂であることを即座に理解した。フォーラムの中で神谷先生は少子高齢化についても言及されていたが、この問題に対し最も若い世代が早くから目的意識をもって取り組むことが解決の糸口への一助になると思った。また、これは薬剤師会がダイバーシティの一環として幅広い世代の意見を取り入れるとのアピールだけでなく、長期的なスパンでの次世代の指導者の育成にも繋がり、あらゆる点で他の団体より先んじた存在になる可能性も秘めている。

今回、神谷先生の質疑応答を傾聴させていただき、容易く言質を与えないよう非常に慎重な言葉遣いをされている印象を受けた。政治の世界には縁がない自分であるが、諸先生方の近況報告を伺うにつれ民主主義社会の中で有利に物事を進めるためには理念だけではなく数という力を手に入れていくことの重要性を実感することができた。また、個人的な見解ではあるが、20代～30代前半の若者こそフォーラム参加の門戸を広げられたらと考える。今後も薬剤師会の理想と国民の健康を実現するため、微力ながらも先生方への絶え間ない支援を継続していきたい。

⑱

「政治に関心はあるが自分には遠い存在」、今回の研修会に参加する前の私にはそのような考えがありました。

今回3名の議員の先生方のお話を聞かせていただき、国会議員の先生

方がいかに現在または未来の薬剤師のために日々ご尽力されているのかを知ることができました。

医療業界の実情を知っている議員が多いことはもちろん大切ですが、その中でも薬剤師議員が1人でも多くいることは、委員会などで薬剤師の必要性等を他議員へアピールでき、結果として我々若い世代の薬剤師の未来に大きく関わると強く感じました。

政治への関わり方は議員として政界で働くだけではなく、現場の薬剤師でも政治に対して強く関心を持つこと、薬剤師議員の重要性や必要性を周りに発信していくこと、現場にいるからこそわかる現状や疑問点などを多く発信していくことなど自分自身にできることも多くあると感じました。

今回の研修会のように議員の先生方と直接お話できる機会は、自分自身が政治への関心をより強く持つこと、政治は現場の薬剤師にとって身近なものであることを知ることができる貴重な時間でした。

⑱

まず初めに、この度は貴重な体験に参加させていただき感謝申し上げます。

参加して調剤薬剤師として感じた点を1点、フォーラムの進行に関して1点感想を述べます。

まず調剤薬剤師として感じた点ですが、自分が薬局の1歩外にでたときに全くの無力である事を思い知らされました。特に藤井先生の発言に関してハッとさせられた点がありました。「君は薬剤師か、ワクチンをなんとかしてくれよ、と言われる」この発言です。私は調剤薬局の薬剤師ですが、地元の友人に久々に会った時も同じ事を言われ、そんなの自分に言われても・・・と思ったことがあります。国会議員の先生は、こうしたワクチンの仕事や、その他保険調剤関連の仕事はただの1つにすぎず、幅広く仕事をされているのだと感心しました。薬剤師とは、調剤をすることだけが仕事ではない。私も調剤薬局の1歩外にでて何かしら仕事をできるように、これから精進しなければ、と感じさせられました。

フォーラムの進行に関してですが、もっと質疑応答に時間が欲しいと感じました。国会議員と直接話ができる機会など滅多にないですから、せめてあと1時間以上は時間が欲しいと感じました。議員会館に訪問する時間などはもう少し削れるのではと感じました（実際最後の数十分くらいは時間を浪費している感覚でした。本人次第と言われればそれまでですが）。私は調剤報酬関連の事前質問をしましたが、取り上げてもらえませんでした。藤井先生は、「報酬関連の話は村の話だ、そんな内輪

の話をしてほしかったらいくらでもするが我々はもっと大きなことを考えていかなければならない」そのようなことをおっしゃっておりましたが、とはいえ他にも時間の都合で取り上げていただけなかった質問が何個もありましたので、気になるまま終わってしまったと感じました。

⑳

2022年2月23日 久しぶりに神谷政幸先生にお会いすることができました。私は驚きました。神谷先生がとても頼もしくなっている・・・。

私の神谷先生との初めての出会いは2020年の年初めの頃。組織強化委員会の顔合わせの時です。お偉いさんの面々の中に、物静かに若い薬剤師がポツンといるなというのが第一印象でした。

会は「2022年の参議院選挙は神谷先生が出馬するよ」と紹介され、神谷先生の所信表明と続きます。

もう滅茶苦茶に緊張が伝わってきて内容が入ってこない。

前任の藤井先生は「もの優しく、わかりやすく、かつ厳しいお言葉がスパンッと入る身が引き締まる」話し方

しかし、後任の神谷先生は「抑揚がなくただ声がかいだけの内容が伝わりにくい」話し方。

こりゃなかなか神谷先生の良さを伝える・感じてもらうのは大変だぞと思ったのを覚えています。

しかしあれから数々の修羅場を潜り抜け、参議院選挙に勝ち、環境が人を変えるとはまさにこの事。若手フォーラムの神谷先生は頼もしく、ドンっと構えており、抑揚のある話し方には余裕すら感じました。参加者は神谷先生を政治家としての頼もしさ肌で感じる事ができたと思います。

故に惜しい。とてももったいない。

大方の薬剤師は、この神谷先生の成長をまだ感じていない。

いや、神谷先生の存在すら忘れていた薬剤師もいる状況です。

是非ともTwitterなど存在アピールをお願いしたい。笑顔だけではなく、参議院厚生労働委員会で見せた真剣な眼差し。あの分厚い書類に目を通す姿などなど。現場の薬剤師は頑張っている。私も負けじと頑張ります。とアピールし続けて頂きたい。紙媒体はリアルさが伝わりにくいですが、SNSはリアルを感じる共感力が高いツールです。コスパもいいです。是非とも写真と一言コメントだけでもお願いします。そして継続的に投稿してください。仕事が激務は重々承知です。しかし神谷先生を支援する薬剤師たちは神谷先生のリアルを求めています。そこに口コミが生まれ、更に支援者を増やすことができると思います。

⑲

この度は愛知県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム研修会並びに国会見学の機会をいただきありがとうございました。

私自身初めて国会の中に入れていただき、厳粛な雰囲気感慨深く身の引き締まる思いがしました。また、神谷政幸参議院議員を始め、国政に携わる経験のある先生方と交流することで、政策決定において薬学関連の意識・認識を他の議員に理解、また国民に発信して頂くためにも薬剤師国会議員の重要性を改めて感じました。

また、私は今回の交流会で、薬剤師は「弱者に対する優しさと科学に対する厳しさ」を持つ必要があるという考えに感銘を受けました。これから日本が迎える多死時代において、薬剤師が国民の健康寿命を延ばすことに貢献できるように今回の交流会で学んだ考えを日々の業務に生かしたいと思います。

⑳

今回連盟に所属して初めてのフォーラムに参加させて頂きました。

フォーラムについては神谷先生他、各先生方のお聞きして、自分たちが推薦した先生が当選し国政に出ることの大切さ、重要性を肌で感じることができ、その先生方がどのような形で私たちの声を国政に届けているのか知れてとても勉強になりました。

特に印象に残っているのは藤井先生の『弱者に対してはやさしさを、化学に対しては厳しさを。』という言葉です。

薬剤師という立場で寄り添い、思いやりを持った行動を。

プロフェッショナルとしての立場で薬学的観点からの見地を持ち、考え、行動することが今後の薬剤師としての未来に繋がっていくと思いました。

先生方の活躍を期待する気持ちが高まる半面、自分たちの声を届けるために連盟活動や薬剤師としての行動で先生方を後押ししなければならないと思いました。

また他地区のあまりお会いできない先生方や近くの先生たちと現状や活動内容を交流できてとても刺激になり、今後このようなフォーラムがあれば是非参加したいと思えた会でした。

㉑

先の参議院選では、神谷先生の当選を願い、それがかないましたが、ただ当選後はどのような活動を日々されているのかは、SNSを通じ一部は知ることはできていましたが、実態は知らずにいました。

今回このような機会をいただき、神谷先生が国政の場でどのような仕

事をされているのか学ぶことができました。

部会に参加し、国会に提出する法案の元を作成するため、専門家を招いてレクチャーを受け、1回しかできない質問でいかに薬剤師としての視点で考え、薬剤師が重要であるかをご発言されていることや、議連ではいろいろな課題に対して議員連盟を作り意見交換をされていること、委員会への出席もされていることを知ることができました。

今は本田顕子先生が政務官の立場であり発言ができないため、神谷先生の一言一言の重要性がわかりました。

今回は県内各地の先生方とご一緒させていただきましたが、その中には市議選への出馬を考えられている先生もみえ、やはり薬剤師一人一人が現場の声を届けるための活動が重要であると認識できました。

今回は、このような機会を設けていただきそれに参加できたことをとても感謝しています。

⑭

藤井基之先生からは医薬分業が急速に進んでいった過去の背景。神谷政幸先生からは朝の部会、議員連盟、国会の場で今どのようなことを行っているのか。関野秀人先生からは行政にいた立場からの話や本田顕子先生の活動について、普段聞けないような貴重な話を聞くことができました。

特に議員の先生がどのようなことをしているのかあまり把握できてなかったのですが、神谷先生の話で実際にどのようなことをしているのか、質問意見の解答から自分たちと同じような考えで、更にもっとよく考えて実際に行動されているのが伝わってきて参加してよかったと思いました。

⑮

私には、薬剤師職能をいかして公職者(市議会議員)になるという望みがあります。今回、若手薬剤師フォーラムに参加して、国会議員の先生方のお話をうかがい、薬剤師としての職能を地域で存分に発揮していくためには、行政に対してきちんと発言のできる薬剤師議員が必要だと強く感じました。

議員になる願いが叶うなら、薬剤師・学校薬剤師としての経験をいかし、行政との橋渡しの役割を担っていきたいと考えております。

地域包括ケアシステム、セルフメディケーションの推進、健康寿命を延ばすために、地域での薬剤師の役割は重要です。

薬剤師会と連携して薬剤師の地域での活躍の場を増やしていけるよう、しっかりと発言して行政にアピールしていきたいです。

私は、3年程前から学校薬剤師・スマホ依存防止アドバイザーとして、愛知県内小中学校で子どものスマホ・ゲーム依存を防止する講演活動を行ってきました。出馬を決めたきっかけは、学校現場や保護者からお困り事を聞くうち、子どもたちの未来が非常に心配になったためです。

現代の子どもたちは、ネットに接する時間が増えて、リアルなコミュニケーションの機会が減っています。スマホやゲーム機を持つ年齢も低年齢化し、学校現場ではSNSやオンラインゲームによるトラブル、学力低下、不登校児の問題を抱えています。タブレット教育もスタートしましたが、子どもたちは時間制限やセキュリティーを突破して、使い方が乱れている現状です。安全に学校でタブレット運用を行えるよう制度を整える必要があると考えています。

学校薬剤師の先生方には薬教育、薬物乱用防止の講座に加え、子どものネット依存の危険性についても伝えていただきたいと切に願います。

薬剤師フォーラムに参加させていただき、大変貴重な経験となりました。ありがとうございました。

②6

この度の若手薬剤師フォーラムにおいては、藤井先生、神谷先生、関野先生のお話を拝聴するという稀有な経験ができました。特に印象的だったのは、藤井先生の「自分の村の話ばかりではなく、大局を見て論じるべきだ」という論旨のお話でした。

薬局は医療提供施設でありながら、多くの場合は小売店という性格も併せ持っています。医薬分業を進めるなかで当時のいわゆる薬店が調剤を始めていったという流れが影響しているものと思いますが、そもそも小売業である、ということは他の医療提供施設には無い特徴で、医療費削減を実現していくために必須の性格であると考えています。調剤医療費を削減していくことで減っていく収入を、薬局は小売業の部分で、より医療に即した言葉で表現すればセルフメディケーションに貢献することで、補うことができると思うからです。

しかしながら、藤井先生がCovid-19の国産ワクチンについて言及されたとき、この考え方は浅薄だったかもしれないと感じました。そもそも薬剤師綱領に記載があるように、公衆衛生を司るものが薬剤師であるならば、自らの仕事の範疇を調剤や小売業だけに限定すべきではないと気づいたからです。

一介の薬局薬剤師に実践できることは多くはありませんが、神谷先生の話にあったように、例えば新型コロナの治療薬においても患者自己負担金を最初に考慮するのは薬剤師で、つまり、私たち薬剤師は、なんだ

かんだ言いつつも患者の暮らしに最も近いところで働く医療者です。市民の健康の向上に必要な知識を、市民にどのような形で求められているかを常に意識しながら発信できる薬剤師になれるよう日々の業務に邁進していこうと、本フォーラムを経て実感しました。

改めて、こういった場を設けていただいたことに、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。